

老人会員の指導を受ける児童



昔ながらの技法に悪戦苦闘

◎近永小学校しめ飾り教室

「近永小学校しめ飾り作り」は12月6日、近永小学校で行われ、近永地区老人会（松浦要喜会長）会員の指導の下、同校の5年生49人がしめ飾りを作りました。初めに松浦会長から、作り方の説明があつた後、班ごとに分かれ作業を開始した児童たち。慣れない手作業に一心不乱になり作業を進めていました。思うようにワラを結えず苦労する児童もいれば、会員が驚くほどの器用に作った児童もいました。この日作ったしめ飾りは、児童らが持ち帰り玄関に飾られるそうです。

お茶を味わう来場者



県指定史跡で地域の文化に触れる

◎平成23年度遺跡祭り

泉地区の伝統や文化を継承しようと開催されている「遺跡祭り」は12月4日、泉小学校で行われました。祭りの開催は今回で14回目。岩谷遺跡前での神事を皮切りに、遺跡に関する講話などが行われました。その他、フリーマーケット、バザー、お茶会、芸能発表など盛りだくさんの内容で町内外から訪れた来場者を楽しませました。岩谷遺跡は昭和52年に発掘が開始され、昭和57年には県指定史跡にも登録されています。

活発に意見交換を行う実行委員



祭典のさらなる発展のために

◎でちこんか2011実行委員会

町職員や各団体役員で構成する「でちこんか実行委員会」が12月7日、近永公民館で開催され、当祭典の来場者から回収したアンケートを基に、反省点や改善点の協議を行いました。アンケート結果では、駐車場に関する意見が最も多く、集まつた19人の実行委員は活発に意見を出し合い、解決策などについて話し合っていました。委員会では、その他のアンケート結果についても確認が行われ、祭典の発展に向けた意見交換が行われていました。

こんにやくをかたどる児童と会員



生活の知恵小学生に伝授

◎愛治小学校こんにやく加工体験

「愛治小学校こんにやく作り」が12月7日、愛治小学校で行われ、やまびこ会（野村由紀子会長）会員の指導の下、同校の5、6年生14人が調理を行いました。この日使われたこんにやくは、児童らが植え付けから収穫までを行ったもの。児童らは、それぞれの作業を分担して手際よく調理していました。そして、できあがったこんにやくは芋たきの中へ。児童と会員らは作物を作る喜びと、それで作った料理のおいしさを味わっていました。